

第18回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 意見総括

4月20日（木）に開催した第18回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において、青森県がこれまで新型コロナウイルス感染症対策として行った各種の取組を整理・評価した「振り返り」について、前回の会議でいただいた意見等を踏まえた第2案を示し、御意見をいただいた。

なお、会議における主な御意見としては、

- 「振り返り」には貴重な意見が記録されており後世のため歴史としてしっかり残していくことが必要
- 特にオミクロン株の感染拡大以降は、医療機関での診断や自己検査の結果に基づき登録された陽性者以外にも、検査結果が陰性だったが実は陽性だった、また、無症状のため検査しなかったが実は陽性だったなど、登録されていない者が相当数いたと推定されたので、今後は、検査のみに頼ることなく、症状が出たら仕事や学校を休んで様子を見るという考え方に変わっていくことが必要

などがあった。

県としては、いただいた御意見等を整理して会長と調整を図り、専門家会議における最終案として取りまとめ、今後開催予定の「新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議」で決定し、公表する予定としている。